



令和4年7月号



心に響く話～全校朝会講話～

全校朝会の時に、校長先生、各先生方からお話をしてもらっています。

テーマは季節の行事・学校生活に関するものや子どもの心に灯をともし題材等、多岐にわたっています。

子ども達の「聞く力」を育むよい機会として、本校では継続して取り組んでいます。

うなずきながら聞く子、背筋をピンと伸ばして真剣な表情で聞く子、どの子もお話の世界に引き込まれていき、体育館が心地よい静寂に包まれています。

全校朝会でされた講話を一部紹介します。(一部抜粋)

【漢字に興味をもって～新しい発見～】

(1年担任 村上礼先生のお話 6月13日)

先生の名前は「むらかみ あや」です。
では、「あや」という字はどんな漢字を書くか思い浮かびますか。「あや」は漢字で書くとこんな字を書きます。『礼』

1年生の皆さんはまだ漢字を習っていませんが、2年生から6年生までは、毎日いろんな漢字を使ってこつこつと練習していることと思います。

漢字一文字一文字にはいろんな読み方や意味がありますよね。

そこで、先生は、自分の名前の「礼」という漢字について調べてみました。

この「礼」という字は、3年生で習います。
お礼をする、礼儀、黙礼というように「レイ」と読まれることがとても多いです。その他にも、「ライ」と読んだり、「うやまう」と読んだりもします。

そして、この「礼」の字の意味は3つあります。

- ①社会生活で定まった作法や型。 ②うやまう。
- ③ありがたいの感謝の気持ち。

という意味があります。

では、ここでクイズです。普段皆さんが読んだり書いたりしている「あいいうえお」などのひらがなは、その昔、漢字をもとにして作られているのですが、この「礼」という字も実はあるひらがなのもとになっています。それは何というひらがなでしょう。 答えは・・・「れ」です。

さらに、この「礼」という漢字は、昔は「禮」と書かれていたそうです。少し、難しい漢字ですね。

このように、先生は今回、自分の名前の「礼」という字について調べてみたのですが、いろんなことを知ることができて楽しかったです。

普段何気なく使っている漢字は、私たちが知らないだけで、いろんな秘密やおもしろいことが隠れていると思います。

ぜひ、今日のお話を聞いて漢字に興味を持った人は、調べてみてほしいと思います。

【5分+55年】

(5年担任 谷口孔明先生のお話 6月20日)

この曲を聴いたことがある人はいますか？

この曲は先生が大好きなゲーム「ドラゴンクエスト」のテーマソングです。

オリンピックの入場行進でも使われたほど有名な曲ですね！

では、この曲を作った人のことを知っていますか？この曲は「すぎやまこういち」という方が作曲した、クラシック音楽曲なんです。すぎやまこういちさんは、90歳という年齢まで作曲を続けられ、2021年9月に亡くなりました。

では、ここで問題です。「すぎやまこういちさんはこの曲をどのくらいの時間をかけて作られたでしょう。」

- ①1年間 ②5年間 ③5分 ④1カ月

正解は、③番の5分なんです。驚きですよね。休み時間のうちには曲が完成してしまうほどの速さですね。ですが、正しくは5分ではないそうです。正しくは「5分と55年」だそうです。

すぎやまさんは、「この曲は5分プラス、僕がそれまで生きてきた55年分が詰まっている。」とおっしゃっています。55年間努力してきたからこそ、5分という短い時間でこんな名曲を作ることができたんだということですね。

次はみんなの周りで見てみましょう。計算の速い人、字がきれいな人、いませんか？足が速い人、サッカーが得意な人、「すごいなあ」と思える人がたくさんいますね！素敵なことです。

その人たちは初めから、そんなにすごいことができたのでしょうか。おそらくその「できた！」までたくさんの努力を積み重ねたに違いありませんよね。「できない」ことに何度も挑戦して努力することはとても大変なことです。努力の成果というのは、目に見えるまでに時間がかかります。でも一旦「できた！」が見えだすと、ぐんぐん成長していけます。だから、成果が出なくてもあせらなくてもいいのです。努力しても成果が目に見えない時が一番つらいかもしれません。

でも、地道な努力を続けることこそが、みんなが今見つけた「すごいなあ」に近づく1番の近道だと先生は思います。

また、先生は山小のみんなには「人の努力を見つけられる人」にもなって欲しいと思います。

お互いのいいところをたくさん見つけて、友だちとたくさん学び合える、そんな山野里小学校にしていきたい！



